

# 『グローバル天理』 200号記念特集



2000年1月に創刊された『グローバル天理』は、今回で200号を数えることになりました。「グローバル」という言葉は、グローバル（地球）とローカル（地域）を結びつけた造語で、全体と個、弱者と強者、からだどころ、科学と宗教などといった、さまざまな形の二元的思考を包摂・調和する概念を表しています。

これまでの皆様のご愛読に心より感謝いたします。200号を記念して、これまで本誌に連載された論文と執筆者名を以下に掲載します。なお、※の論文は、連載終了後に『グローバル新書』あるいは『伝道参考シリーズ』として出版されたものです。

今後も、さらに内容の充実を目指して進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## —連載タイトル・執筆者一覧—

巻頭言	井上昭夫	101～124号	※ノーマライゼーションへの道程	八木三郎	147～183号
※天理教教理史断章	安井幹夫	101～現在	「おふでさき」の有機的展開	深谷耕治	149～187号
※天理教文献余話	早田一郎	101～120号	天理参考館所蔵の漢族資料	中尾徳仁	149～182号
日本語教育の歴史、その光と陰	前田均	101～120号	フランスで育つ日本人の子供たちへの日本語教育	田中久代	157～168号
世界平和のための宗教対話	山口英雄	101～158号	ヴァチカン便り	山口英雄	160～現在
布教伝道と“土着化”	堀内みどり	101～120号	新宗教のブラジル伝道	山田政信	161～現在
※天理異文化伝道の諸相	森 洋明	101～142号	「おふでさき」天理言語教学試論		
現代ジェンダー論展望	金子珠理	101～146号	～「こと」的世界観への未来像～	井上昭夫	173～現在
宗教・国際協力・NGO	野口 茂	101～144号	『教祖伝』探究	深谷忠一	175～現在
※「二つ一つ」の環境学	佐藤孝則	102～132号	東日本大震災と宗教	澤井治郎	175～180号
今日の時代における宗教批判の克服学	金子 昭	109～144号	「おさしづ」語句の探求	澤井治郎	181～現在
ハワイ人とキリスト教：文化と信仰の民族誌学	井上昭洋	112～147号	ライシテと天理教のフランス布教	藤原理人	181～現在
天理教海外伝道の資料	深川治道	121～160号	地域福祉を拓く—新たな寄付文化の創造—	渡辺一城	181～現在
巻頭言	深谷忠一	125～196号	現代宗教と女性	金子珠理	181～現在
オーストラリア通信	土井幸宏	125～154号	「元初まりの話」に登場する動物たち	佐藤孝則	184～現在
天理スポーツ	難波真理	126～147号	コンゴ社会から見るアフリカ・ヨーロッパ関係試論	森洋明	186～現在
アメリカ通信	深谷耕治	136～144号	遺跡からのメッセージ	桑原久男	186～現在
※天理教伝道史の諸相	早田一郎	145～180号	天理参考館から	幡鎌真理	188～現在
「いのち」をつなぐ—生死の現象	堀内みどり	145～180号	「おふでさき」の標石的用法	深谷耕治	189～現在
福島第1原発の放射能漏れ事故がもたらした			巻頭言	高見宇造	197～現在
想定外？の波紋	佐藤孝則	145～159号			
「褻のあわいに深く入り込んでいて…」をめぐって	松田健三郎	146～174号			
現代世界に生きる「人間」と「宗教」	岡田正彦	146～153号			

